

学校探検 12

みんななかよし 清滝つ子

清滝小学校 (日高)

案内者 安堵あんど 翔汰しょうたくん



桜の名所として知られる清滝小学校には、現在、93人の児童が7つの地区から通っています。校区内を流れる稲葉川いなばがわでは、神鍋火山群から流れ出した溶岩流によって作られた美しい滝や溪流を見ることが出来ます。

この小学校に通う安堵翔汰くん(6年)の特技は、2年生から続けている野球です。将来はプロ野球選手になるという夢を持つ児童会長の安堵くんに、清滝小学校を紹介し



▲春には校庭に見事な桜が咲く清滝小学校

てもらいました。

僕が通う清滝小学校では、小規模校の特徴を生かして、縦割り班で「みんななかよし活動」をいっぱい行っています。みんななかよし活動の一つ、「1年生歓迎遠足」では、縦割り班で地区別ごとに神鍋山まで4キロを歩いていきます。高学年は、低学年に合わせてゆっくり歩きながら、目的地までみんなで励まし合いながら頑張つて歩きます。時にはリュックなどの荷物を持つてあがる高学年もいます。目的地の神鍋山では、「1年生歓迎集会」をして、自己紹介やゲーム、クリーン作戦をしながら、みんなが仲良くなっています。

また、学年を超えてみんなと一緒に給食を食べたり遊んだりする「なかよし給食・な

かよし遊び」も行っています。これは、高学年が低学年の子を引っ張っていくリーダーシップや、思いやりの気持ちを育むことに役立っています。

もう一つの学校の特色は、何と言つても3学期に行う「学校スキー」です。地域の方を指導者として迎え、校区内の太田・名色スキー場で教えてもらいます。年5回の授業で、最終日には記録会を行い、技術の成長の確認をしています。



▲新入生を迎えて、みんなで仲良く「1年生歓迎遠足」

この学校スキーは、単なるスキー技術の習得だけでなく、ウィンタースポーツを通して、マナーを身に付けることができます。

僕たち「清滝つ子」は、自然いっぱいこの清滝のことをもっと知り、もっとももっと好きになりたいと思います。

笑顔の輪

おふくろの味をお届け

『せせらぎ工房』(竹野)

竹野町三原地区のグループ「せせらぎ工房」は、地元でとれた野菜を加工して漬物を作っています。

同グループは、昭和40年代に発足し、現在は同地区在住の有志5人で活動しています。作業の拠点は、同地区内にある「三原高原サントピアあすなろ」(旧三原小学校)です。

キュウリの塩漬けを元にした「みはらかあちゃん漬」と、刻んだナスとミョウガを合わせ、酢と梅酢でさっぱりと味付けした「さわやか梅酢漬」の2種類があり、キュウリとナスの原料はすべて三原高原でとれたものです。風味が変化してしまうので作り置きができません、1回の作業で作れるのは100パック程度です。

また、県内産の減農薬で栽培された農産物を使用し、「食」への安心・安全の基準を定めた「ひょうごブランド



商品」に認証されるなど、食の安全にも配慮しています。メンバーの長峰信子ながみねのぶこさんは、「全て手づくりなので、数はたくさん作れませんが、田舎ならではの『おふくろの味』がたくさん詰まっています」と仕上がりに自信をみせます。お茶漬けにしたり、カレーに付け合わせたり、また、刻んでおにぎりの具にして食べても、歯ごたえやさっぱりとした味が楽しめます。

同グループが作った漬物は、市内のじばさん但馬などで販売されていますので、皆さんも一度ご賞味ください。



▲味付けした漬物をバックに詰めるメンバー